

KOSUGI+ANDO 活動一覧

著書、学術論文等の名称	単著、共著の区別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(著書)</p> <p>1. 『情報デザインシリーズ 第6巻 情報の宇宙と変容する表現』</p> <p>2 『《心の危機と臨床の知》リアリティの変容? -身体/メディア/イメージ』</p>	<p>共著</p> <p>共著</p>	<p>2000年4月</p> <p>2002年4月</p>	<p>京都造形芸術大学 角川書店</p> <p>甲南大学大学院人文研究科、人間科学専攻学術フロンティア研究室</p> <p>新曜社</p>	<p>共同執筆者：吉岡洋、藤幡正樹、建昌哲、武邑光裕、森岡祥倫、森下明彦、四方幸子、安藤泰彦他。A4、総頁数199 担当部分：第2章2節「BEACON 作品あるいは作品制作におけるプロセスについて」において、メディア・インスタレーションを中心に自作品の制作プロセスについて執筆。P52～P57。角川書店より出版。</p> <p>文部科学省の学術フロンティア推進事業に採択された共同研究プロジェクト「現代人のメンタリティに関する総合的研究 心の危機の臨床心理学的・現代思想的研究」(1998～2002年度)の研究成果をまとめたもの。(全4冊) 共同執筆者：稲垣貴士、川田都樹子、北山修、名取琢白、西村清和、根本則明、斧谷彌守一、鷲田清一、小杉美穂子、安藤泰彦 編者：斧谷彌守一。A5、総頁数212 担当部分：第一部「身体と空間」において、「生成する空間」の題名で作品空間のリアリティについて執筆。P3～28。 新曜社から出版。</p>
<p>(作品)</p> <p>1 『THE QUARTER FINAL』</p> <p>2 『通路』</p> <p>3 『アクタイオンの夢』</p> <p>4 『Veilという名の本』</p> <p>5 『芳一 --物語と研究--』</p>	<p>KOSUGI+AND O</p> <p>KOSUGI+AND O</p> <p>KOSUGI+AND O</p> <p>KOSUGI+AND O</p> <p>KOSUGI+AND O</p>	<p>1984年3月</p> <p>1985年3月</p> <p>1986年3月</p> <p>1986年7月</p> <p>1987年3月</p>	<p>京都アンデパンダン展</p> <p>京都アンデパンダン展、個展 同時開催</p> <p>京都アンデパンダン展</p> <p>個展</p> <p>京都アンデパンダン展</p>	<p>インスタレーション(8x16m)。京都市美術館 小杉美穂子とのユニット「KOSUGI+ANDO」による共同制作、本人担当部分 抽出不可。(以下「KOSUGI+ANDO」も同様。</p> <p>インスタレーション。写真、スライド、オブジェ等。3カ所の展示空間を使用。 展示空間 1「痕跡」(8x16m)、京都市美術館。 展示空間 2「部屋」(5x5m)、ギャラリーSUZUKI (京都)、展示空間 3「通路」(6x6m)、ギャラリー16 (京都)。</p> <p>インスタレーション(8x16m)。京都市美術館。</p> <p>インスタレーション」(6x11m)。自費出版の冊子「Veil」(A5版モノクロ96頁)を含む。 ギャラリー16 (京都)。</p> <p>インスタレーション(8x16m)。</p>

6 『婚礼』	KOSUGI+ANDO	1987年9月	個展	インスタレーション」(6x11m)。ギャラリー16(京都)。
7 『とはずがたり』	KOSUGI+ANDO	1988年8月	個展	インスタレーション」(6x11m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。ギャラリー16(京都) 冊子名「カタログ1988」制作。
8 『PLAY-ROOM』	KOSUGI+ANDO	1989年3月	京都アンデパンダン展	インスタレーション」(8x16m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。京都市美術館。
9 『NINE ROOMS』	KOSUGI+ANDO	1989年7月	個展	インスタレーション」(14x24m)。コンピューター、ビデオ、オブジェ他。ABCギャラリー。
10 『FLASHBACK』	KOSUGI+ANDO	1990年1月	三菱地所アルティアム主催。個展。	メディア・インスタレーション(6x20m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。ギャラリー・アルティアム(福岡)
11 『FLASHBACK』	KOSUGI+ANDO	1990年4月	京都市主催。個展。	インスタレーション」(12x12m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。四条ギャラリー(京都)。
12 『FLASH BACK』	KOSUGI+ANDO	1991年1月	西武百貨店トランスメディアウム主催。個展。	メディア・インスタレーション(10x13m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。トランスメディアウム(東京)。
13 『STOLEN BODIES』	KOSUGI+ANDO	1991年2月	ギャラリーサージ企画。個展。	メディア・インスタレーション(5x7m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。ギャラリーサージ(東京)。 展覧会と並行してソフトを"Hyper Card"で制作。パソコン通信(nifty serve)にアップロード。カタログ制作。
14 『STOLEN BODIES』	KOSUGI+ANDO	1991年9月	0美術館主催「デジタルサイト展」	メディア・インスタレーション(5x7m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。0美術館(東京)。 展覧会と並行してインタラクティブ・ソフトを"Super Card"で制作。
15 『STOLEN BODIES』	KOSUGI+ANDO	1991年9月	テートギャラリー・リバプール主催「A CABINET OF SIGN」	メディア・インスタレーション(7x11m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。テートギャラリー・リバプール。 芸術文化振興基金助成。
16 『STOLEN BODIES』	KOSUGI+ANDO	1992年1月	同上	メディア・インスタレーション(4.5x11m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。ホワイトチャペル(ロンドン)
17 『STOLEN BODIES』	KOSUGI+ANDO	1992年3月	同上	メディア・インスタレーション(4.5x11m)。ビデオカメラ、モニター、オブジェ他。クンストハーレ(マルメ、スウェーデン)
18 『Interface/Eros』	KOSUGI+ANDO	1992年7月	ギャラリー16 企画。個展。	メディア・インスタレーション(6x11m)。ビデオ・プロジェクター他。ギャラリー16(京都)。

1 9 『Interface/Eros -Proto Type-』	KOSUGI +ANDO	1993年8月	ギャラリーサー ジ、アートフォー ラム谷中共同企 画。個展。	メディア・インス タレーション(5x7m)。ピ デオ・プロジェク ター他。ギャラ リーサージ(東 京) 芸術文化振興基 金助成。
2 0 『Interface/Eros -Echo-』	KOSUGI +ANDO	1993年8月	同上	メディア・インス タレーション(5x7m)。ピ デオ 制御他。ギャラ リーサージ(東 京)
2 1 『Interface/Eros -井筒-』	KOSUGI +ANDO	1995年1月	ギャラリー16企 画 個展。	メディア・インス タレーション(5x7m)。ピ デオ 制御他。ギャラ リー16(京都)
2 2 『Pendulum 振り子』	KOSUGI +ANDO	1995年5月	京都市主催。1995 年度「芸術祭典・ 京」造形部門展 覧会「小鳥は大空 を想像する」	メディア・インス タレーション(7x7m)。ス ライド 制御他。旧龍池 小学校(京都)
2 3 『INNOCENTBABIES』	KOSUGI +ANDO	1995年8月	福井県主催。第6 回福井国際ビデオ ビエンナーレ。	メディア・インス タレーション。 会場1 福井県立 美術館(福井)(7x7m) 会場2 福井みど り図書館(3x10m)
2 4 『Pendulum 振り子』	KOSUGI +ANDO	1995年10月	ヘット・アポロ ハウス(オランダ) 主催。「日本・オ ランダ現代美術 交流展(オランダ)」	メディア・インス タレーション。(5x10m) スライド 制御他。織物工 場跡地(アイン ドホー ヘン市)
2 5 『Believe』	KOSUGI +ANDO	1996年5月	日本記号学会主 催。	メディア・インス タレーション。(2x2m) 同志社大学(京 都)
2 6 『Pendulum 振り子』	KOSUGI +ANDO	1996年6月	国際現代美術交 流展実行委員会。「日 本・オランダ現 代美術交流展」「根 の回復として用意 された12の環境」	メディア・インス タレーション。(5x10m) スライド・プロ ジェクター制 御他。旧赤坂小 学校(東京)
2 7 『受胎告知』	KOSUGI +ANDO	1997年1月	ギャラリー16企 画 展。個展。	メディア・インス タレーション。(6x11m) スライド・プロ ジェクター制 御他。ギャラ リー 16(京都)
2 8 『呼吸法』	KOSUGI +ANDO	1998年5月	「KYOTO A RT MAP」実 行委員会主催。	メディア・インス タレーション。(5x10m) 空気弁、プロ ジェクター映 像制御他。ギャ ラ リー16(京都) 芸術文化振興基 金助成。
2 9 『呼吸法』	KOSUGI +ANDO	1998年10月	ギャラリー夢創 館 主催。個展。	メディア・インス タレーション。(5x10m) 空気弁、プロ ジェクター映 像制御他。ギャ ラ リー1 夢創館(神 戸) 芸術文化振興基 金助成。
3 0 『BEACON』	Beacon Project Team	1999年4月	中京大学Cスク エア 企画。個展。	メディア・インス タレーション。会 場1(9x9m) 会場2(5x5m) プロジェク ター回転台映 像制 御 他。Cスクエア (名古屋) 伊藤高志、稲垣 貴士、吉岡洋、 小杉美穂子、 安藤泰彦による 共同制作。本人 部分抽出不可。 以下「Beacon Project Team」 も同様。

3 1 『呼吸法 』	KOSUGI +ANDO	1999年7月	福島県立美術館主催。「コラボレーション・アート展」	メディア・インスタレーション。(12x12m) 空気弁、空気圧による映像制御他。福島県立美術館(福島)
3 2 『呼吸の技法』	KOSUGI +ANDO	2000年9月	ギャラリーサージ主催。個展。	メディア・インスタレーション。(5x7m) 空気弁、空気圧によるオブジェ制御他。ギャラリーサージ(東京)
3 3 『BEACON』	Beacon Project Team	2001年7月	NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 主催。「テクノ・ランドスケープ展」	メディア・インスタレーション。(8x8m) プロジェクター回転台による映像投影、DVD 制御他。
3 4 『Stolen Bodies』	KOSUGI +ANDO	2002年1月	NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 主催。「芸術と医学展」	メディア・インスタレーション。(8x8m) 「Stolen Bodies」(1991)のリメイク。
3 5 『BEACON 2004』	Beacon Project Team	2004年1月	大阪成蹊大学総合芸術研究所主催。個展。	メディア・インスタレーション。(8x8m) 大阪成蹊大学芸術学部ギャラリー「spade B」
3 6 『呼吸法+Circulation』	KOSUGI +ANDO	2005年7月	川村記念美術館主催。「世界の呼吸法展」	メディア・インスタレーション。(12x12m) モーター、ライト、プロジェクター制御等。川村記念美術館(千葉)
3 7 『CIRCULATION』	KOSUGI +ANDO	2005年11月	ギャラリー夢創館主催。個展。	メディア・インスタレーション。(5x10m) モーター、ライト、プロジェクター制御等。 夢創館(神戸)
(その他 展覧会企画)				
1 『SKINDIVE スキン・ダイブ・感覚の回路を開く』	企画代表	1999年5月	京都市主催。第9回「芸術祭典・京」造形部門展覧会。	「感覚」をテーマに学問領域を横断した展覧会の企画・運営。展覧会に伴う講演会2回、ワークショップ6回の企画、運営。 展覧会カタログの制作 企画代表: <u>安藤泰彦</u> 。共同企画者: 伊藤高志、稲垣貴士、吉岡洋、門脇英純、小杉美穂子。
2 『「クロノグラフ-そして、時間の声を聴く-」』	企画代表	2000年7月	京都芸術センター主催。	京都芸術センターにおける展覧会「クロノグラフ」(若手写真作家2名)の企画・運営。 企画代表: <u>安藤泰彦</u> 。共同企画者: 小杉美穂子
3 『チャンネル・n (channel-n) ~多層世界への水路~』	企画代表	2001年3月	京都芸術センター主催。	京都芸術センターにおける展覧会企画・運営。 「世界の多層性」をテーマに学問領域を横断した展覧会の企画。展覧会に伴う講演会2回、イベント1回の企画、運営。企画代表: <u>安藤泰彦</u> 。 共同企画者: 門脇英純、小杉美穂子
4 『プログラム・シード(program seed) ~かたちの生まれる時~』	企画委員	2002年3月	京都芸術センター主催。	京都芸術センターにおける展覧会の企画・運営。テクノロジーによるかたちの変容をテーマに学問領域を横断した展覧会の企画。 共同代表: 天野一夫。共同企画者: 小杉美穂子、 <u>安藤泰彦</u>